

コロナ禍、若手社員だけがストレス増！

—今こそ、若手社員の育成で将来の業績をつくる—

なぜ、若手社員だけ、ストレスが増えているのか？

「コロナ禍で、皆ストレスが増えている」ことは、容易に想像できることです。ところが、ある調査結果（昨年とのストレス比較）によると、若手社員以外は僅かながら、減っているとのこと。

ではなぜ、若手社員（20代）だけが増えているのでしょうか。「ストレスがある」と、答えた理由の第1位は「会社の中で成長イメージが描きづらく、キャリア形成への不安がある」だそうです。

たしかに、コロナ禍で目先の業績中心になり、若手育成に対する時間も予算も割けないという現状があるでしょう。しかし、目先の業績確保と同時に将来の業績を担う若手社員の育成も必要です。ましてや、退社してしまったら、育成のしようもなく二重の損失です。

春の芽吹きは、冬の準備があればこそ

コロナ禍で厳しい状況の企業が少なくありませんが、今こそ、将来のための投資が必要ではないでしょうか。

秋に葉を落とした樹木は、冬の間ただじっと耐えているわけではありません。冬には冬芽（とうが。寒さ対策をした芽）をつけ、春の芽吹きの準備をしているそうです。まさに冬は基礎を作るときと言えます。同じく、若手社員の基礎力を、厳しい環境の中でも、今養っておかなければアフターコロナでの活躍を期待できません。

基礎力とは

では、社員としての基礎力とは何か。これは各企業によって異なるかもしれませんが。ただ、2年前経済産業省が「社会人基礎力」として、3つの視点でまとめたものを参考にしてもよいでしょう。

考え抜く力（シンキング）	課題発見力、計画力、創造力
チームで働く力（チームワーク）	発信力、傾聴力、柔軟性、規律性 状況把握力、ストレスコントロール力
前に踏み出す力（アクション）	主体性、働きかける力、実行力

当社では、各企業の個別事情に合わせたカリキュラム、運営方法（集合、WEB、通信教育等々）による教育研修・コンサルティングを行っております。

是非、ご興味・ご質問のある方は、下記までご連絡下さい。

> お問い合わせはこちら